

令和2年度 林業試験研究推進計画書

1 課題名	ウバメガシ林の再生に関する研究		
2 研究期間	平成29年度～令和3年度	3 総括責任者	森林経営課 黒岩 宣仁

4 背景と目的

近年、中国産白炭の輸入量が減少し、国産備長炭の需要が高まっている。このよう中、高知県は2014年度より白炭生産量が全国1位になるなど、現在、土佐備長炭の生産量や生産者を増大させる取組を展開している。しかしながら、備長炭の原木となるウバメガシの資源は、薪炭林の皆伐面積の増大、獣虫害の被害等によって、今後の安定的な原木の確保に不安を抱えている。このため、その解決策の一つとして低コストで普及が期待できるウバメガシ林の造林技術の確立が急務だが、これまでの研究成果は断片的で、本県に適応可能な指針となる情報等は限られている。そこで、実際の薪炭林を試験地として設定し、皆伐地への植栽・播種と競合木を除去した樹林下への植栽、ウバメガシ優占林の択伐など、実証的な試験研究を推進して、現場に導入できる造成技術を開発し、持続的に原木供給できるウバメガシ林（薪炭林）の再生を目指す。

5 到達目標

持続的に原木供給が可能なウバメガシ林の造成技術の確立

6 研究年次計画

試 験 計 画		担当者
試験項目・試験内容	試験年度	
1. ウバメガシ林の育成方法の検討 ①皆伐方式によるウバメガシ林の育成 植栽密度の違い（10,000/ha:30,000/ha）による比較 立地条件による違い（斜面上部と下部） 播種による育成 筒播きと直播きの比較 生育阻害要因（競合植生・食害）の把握と対策の検討 ②競合木除去と樹下植栽 ③伝統的択伐方式の検証 択伐の効果（萌芽と残存幹の成長） 天然下種更新の有無	29～33	森林経営課 黒岩宣仁 渡辺直史 藤本浩平 和食敦子

7 当年度研究実施計画

- 1) 皆伐方式によるウバメガシ林の育成
 - ① 苗木の成長量の把握（12月）
 - ② 播種苗の成長量の把握（12月）
 - ③ 枯死と食害状況の把握（通年）
 - ④ 競合植生の把握（通年）
- 2) 競合木除去と樹下植栽
 - ① 苗木の成長（12月）
 - ② 競合木の侵入（通年）
- 3) 択伐方式によるウバメガシ林の育成
 - ① 萌芽と残存幹の成長（12月）
 - ② 林床植生の変化（競合木の侵入と実生の発生）（通年）